



曙草帙 十三日共

13
3049
4



四十一

○ 〇
〇 〇
〇 〇
〇 〇
〇 〇
〇 〇
〇 〇
〇 〇

一

大晴日
雙紙

十六

特
へ13
3049
4



京山作

豊国画

大晦日曙艸子十三編 上の巻

戊申の新板 葛屋吉藏板

只今
色
印



大崎日十三編

京山作

豊国画

弘化五年戊申春鳥屋壽祥

上



大蔵持

あけ

十三編

下の巻

京山

豊國

ほつ吉

せん

門人五五五

峰女

いねる天保九年戊の春大晦日曙草子をほつり
 櫻木山より長らきるる曙の紫しちり大江戸に
 ころころ春酒の露らるる春のやぶらぎ
 はつたのうらみのりるる筆のつらさ
 目もたつたてのうらみのりるる筆のつらさ
 ころころ年の数に十もせしものゆびの大晦日けさの
 元日らるる露のつらさ
 筆の筆をぬきて現の悔のちり馬のこまごま
 ちりりのこまごまをさつらせ

弘化四年丁未 仲秋稿本同初冬善祥 申の春の新板

山東菴京山



大蔵四十三

Handwritten text at the top of the page, including the title '大田四三' and various annotations.

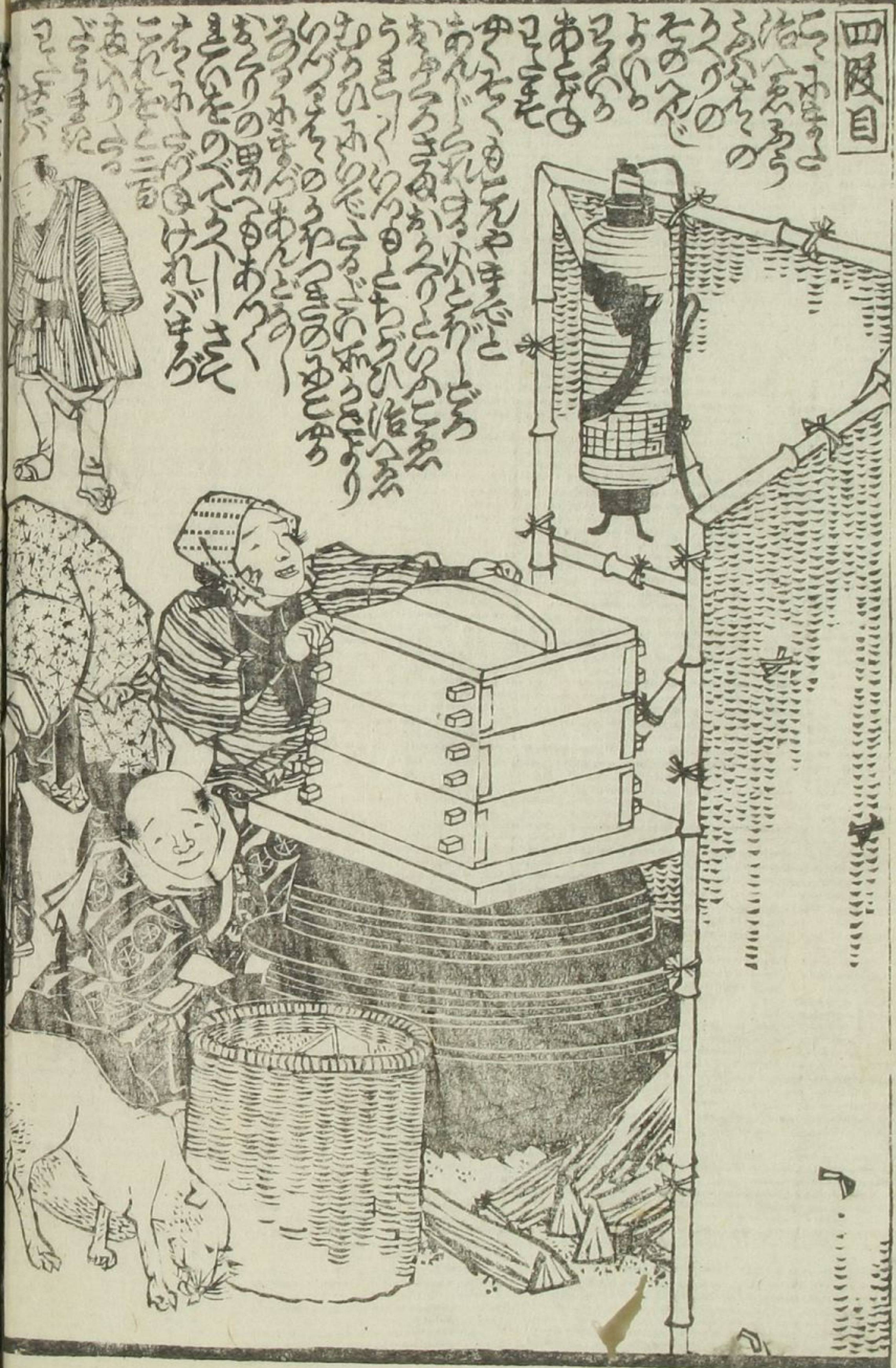


Handwritten text on the left side of the top section, providing descriptions or commentary for the illustration.



Handwritten text at the bottom of the page, including the number '五' and additional annotations.

四段目



あんなに洗った洗濯物が
あんなにすすいだ洗濯物が
あんなに絞った洗濯物が
あんなに干した洗濯物が
あんなにたたんだ洗濯物が
あんなにたたんだ洗濯物が
あんなにたたんだ洗濯物が
あんなにたたんだ洗濯物が
あんなにたたんだ洗濯物が
あんなにたたんだ洗濯物が

二



あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が

その二
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が
あんなに歩いた洗濯物が

大坂町

大坂町

五



又人の目をは
より目をた
よるにや
よるにや
よるにや
よるにや
よるにや
よるにや
よるにや

星の井家の長臣
加田井ひと

◎のちのち
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた



か
七

◎のちのち
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた



のちのちのち
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた

◎のちのち
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた

◎のちのち
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた
おきかた

この酒は、
...

竹へ添花



...



星の井のつら
加田井ひつら

...

三股目
The first scene is a woman in a kimono sitting on the floor, looking distressed. She is surrounded by various items, including a box and some papers. The scene is set in a room with a window in the background.

三股目
The first scene is a woman in a kimono sitting on the floor, looking distressed. She is surrounded by various items, including a box and some papers. The scene is set in a room with a window in the background.



三股目

九三拾

四股目
The second scene shows a woman in a kimono sitting on the floor, looking distressed. She is surrounded by various items, including a box and some papers. The scene is set in a room with a window in the background.

四股目
The second scene shows a woman in a kimono sitting on the floor, looking distressed. She is surrounded by various items, including a box and some papers. The scene is set in a room with a window in the background.

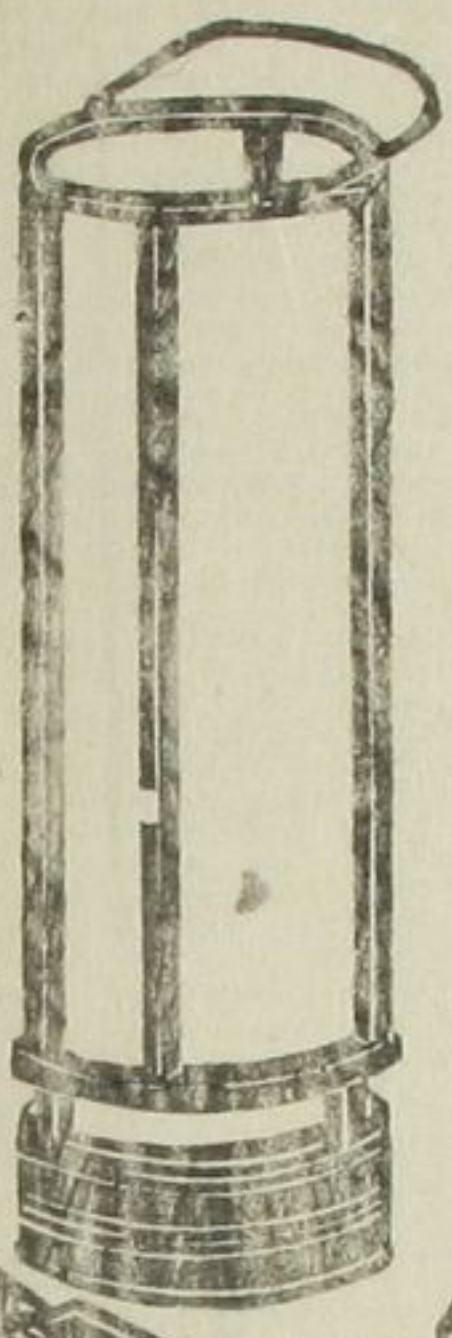
四股目
The second scene shows a woman in a kimono sitting on the floor, looking distressed. She is surrounded by various items, including a box and some papers. The scene is set in a room with a window in the background.

四股目

十五

七段目

七段目
 此の段は、
 上人の
 修行の
 次第を
 示す。



上人
 此の段は、
 上人の
 修行の
 次第を
 示す。

七段目

此の段は、
 上人の
 修行の
 次第を
 示す。



七段目

此の段は、
 上人の
 修行の
 次第を
 示す。

① 此の僧は、
 佛の御影に
 坐して、
 念珠を
 誦す。

② 此の僧は、
 佛の御影に
 坐して、
 念珠を
 誦す。



③ 此の僧は、
 佛の御影に
 坐して、
 念珠を
 誦す。

④ 此の僧は、
 佛の御影に
 坐して、
 念珠を
 誦す。



⑤ 此の僧は、
 佛の御影に
 坐して、
 念珠を
 誦す。

大晦日曙草紙
十四編上之巻

嘉永二年酉春新板

山東菴京山作
一陽齋豊國画

紅英堂
壽梓

門入用紙

峰玄

大晦日明けのぎきし十四編

●おんがわんざん
●うらら川がよそひき
●うらら川のうらら川
●井戸の男をまげ百女の
さのあをひらひらふらふら
おのりうららきつり
しらんふらふらひ

めいりしり

京山作
豊国画



大晦日曙草紙

一陽齋豊國画

葛吉梓

十四編下

十四編上



酉春新板

貫之集

歳暮

山形端尔

夕日さうつ

くまぬれ

きよ

あり

あり

けり

門八何々

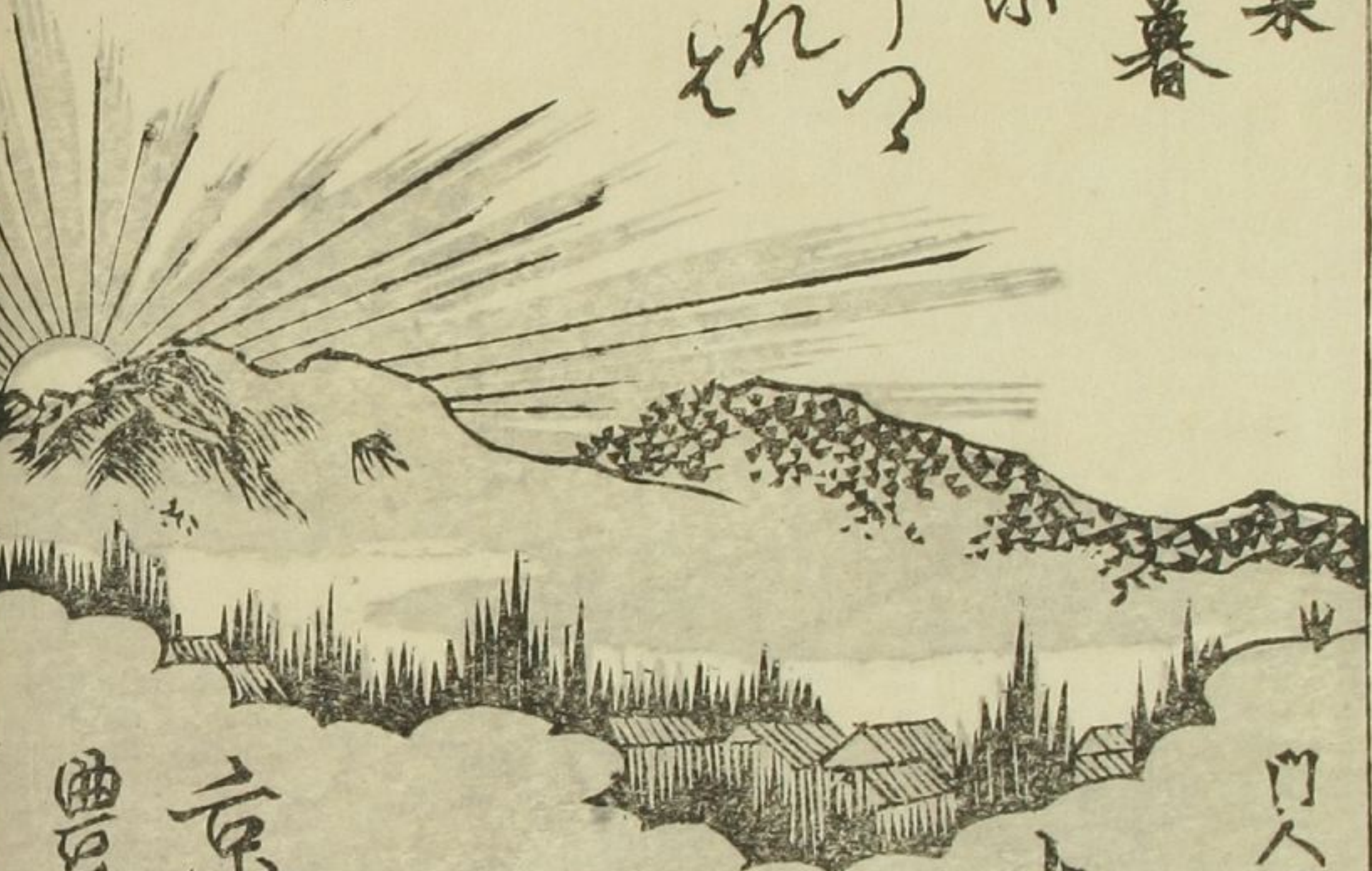
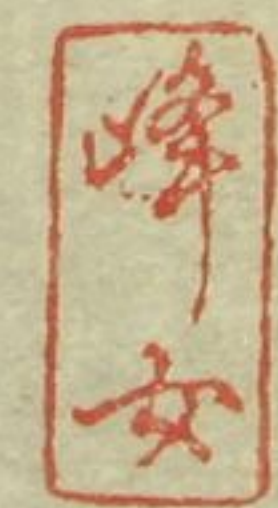
大晦日

阿事ほの

さうり

十四編

下の巻



京山作
豊國画

葛吉板



此大晦日曙さうつ天保九年戌の三月初編の筆を操るを其の年
十月廿八日發販亥の春の新板拙作も幸ひふまゝいふ書肆
二編をむひ三編四編と年々歳々花相似る作らざるを今を
十四の編を乞ふとさうつ元日子の日ありければ霞も松も
いこのどけく窓の梅も香ふ當りろかる薄茶たてて柴の火
めぞたかめ書肆が年始の祝儀ハ歳の名のさるまゝ大晦日
かけのさうつあゝんせん短き財布ハ更まゝの大晦日さうつ
されが金の詞を入小借んと西鶴が胸兼用をたかして時代たか
用したるさうつ小説の学報と学友ハ二三部借て是を翻案
あゝる十四編をあらうべ此大晦日の帳をけしぬ

嘉永元年申孟春稿本
同 初冬上梓酉の新板

八十翁
山東菴京山



大正七年十四

大坂町



京水 けいすい けいすい けいすい けいすい けいすい



西之 西之 西之 西之 西之 西之

大坂町

大晦日
あけぼの
さうじ
十四日

十三日の
大晦日
あけぼの
さうじ
十四日
正月の
あけぼの
さうじ
十四日
正月の
あけぼの
さうじ
十四日



① 正月の
あけぼの
さうじ
十四日
正月の
あけぼの
さうじ
十四日

十三日の
大晦日
あけぼの
さうじ
十四日
正月の
あけぼの
さうじ
十四日



② 正月の
あけぼの
さうじ
十四日
正月の
あけぼの
さうじ
十四日

大晦日
あけぼの
さうじ
十四日

三

大正十一年





あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき



あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき

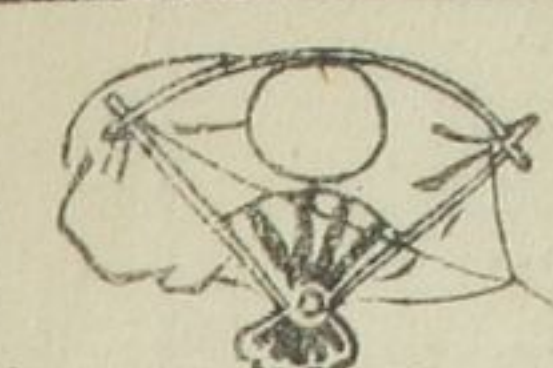
あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき

あまの
さくら
かき



① 大正十四年十一月
 大正十四年十一月
 大正十四年十一月



大正十四年十一月
 大正十四年十一月
 大正十四年十一月



② 大正十四年十一月
 大正十四年十一月
 大正十四年十一月

③ 大正十四年十一月
 大正十四年十一月
 大正十四年十一月

④ 大正十四年十一月
 大正十四年十一月
 大正十四年十一月

⑤ 大正十四年十一月
 大正十四年十一月
 大正十四年十一月

⑥ 大正十四年十一月
 大正十四年十一月
 大正十四年十一月

おれは...
おれは...
おれは...

御六段

おれは...
おれは...
おれは...

おれは...
おれは...

③...
おれは...
おれは...



④...
おれは...
おれは...

おれは...
おれは...



⑤...
おれは...
おれは...

おれは...
おれは...
おれは...



⑥...
おれは...
おれは...



子安丸
 川崎
 あまのこ

あまのこが
 川崎に
 来た
 時
 子安丸は
 川崎に
 居た
 といふ
 事
 だ
 といふ
 事
 だ

子安丸
 川崎
 あまのこ

川崎に
 来た
 時
 子安丸は
 川崎に
 居た
 といふ
 事
 だ
 といふ
 事
 だ

子安丸
 川崎
 あまのこ

子安丸
 川崎
 あまのこ

あけのついで... 大晦日あけのついで... 大晦日あけのついで... 大晦日あけのついで...

京山作



豊国画

豊国画... 豊国画... 豊国画... 豊国画...

大晦日あけのついで... 十四日あけのついで...

七段目

七段目... 七段目... 七段目... 七段目...



十一段 カハカハの目
 三の
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十



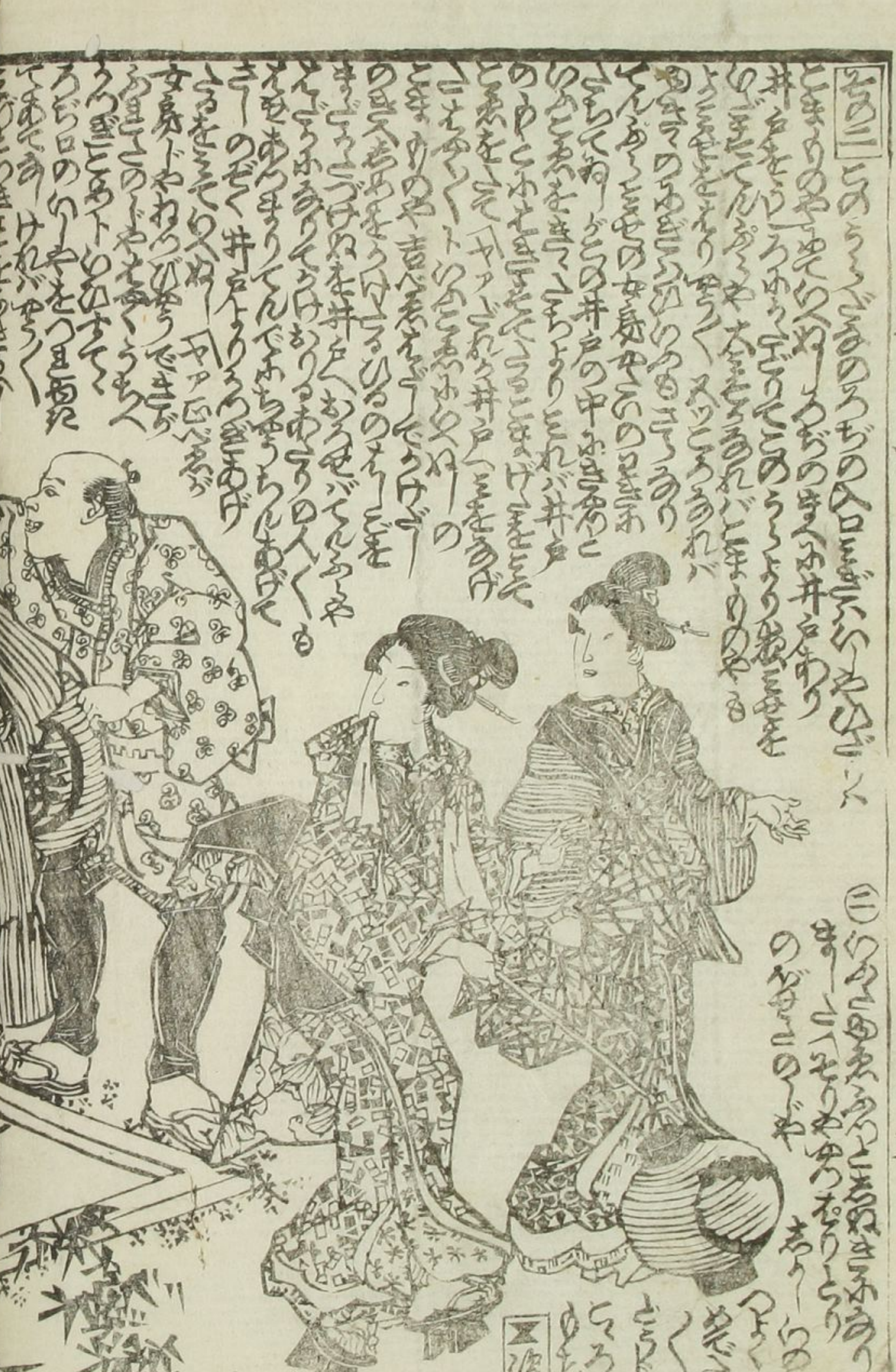
この
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

らむか

の
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十



の
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十



大田原
十五



十四段 ちてのが井戸ゆめひるひささのの百ちをありくくきまー

吉

Vertical text columns located below the illustration, containing various characters and symbols.

十五段 又かゝる御座り
 考へて居るが如くは
 思ふ所を言ふ事
 ならぬが御座り
 申す所を言ふ事
 ならぬが御座り
 申す所を言ふ事
 ならぬが御座り



十五段 又かゝる御座り
 考へて居るが如くは
 思ふ所を言ふ事
 ならぬが御座り
 申す所を言ふ事
 ならぬが御座り
 申す所を言ふ事
 ならぬが御座り



大田日十日

五去あるんらん... とうせんとまの九... 吉へあつひを... 大まそらあひの...

嘉永二己酉新春新板目録

大晦日曙草紙

十四編十五編 山東庵京山作

新鞞田舎物語

初編二編十返舎一九作

御贄美少年始

三編四編十返舎一九作

古今草紙合

初編二編笠亭仙果作

雪梅芳譚大の州紙

三編四編笠亭仙果作

東都地本錦繪板元

南傳馬町壹丁目 葛屋吉藏



水と... 水と... 水と...

おんこころあひのきり
大晦日晴草子
 十編上の巻

京山翁作
 豊國画
 嘉永三庚戌春



峰一玄



山東庵京山作

十五編上

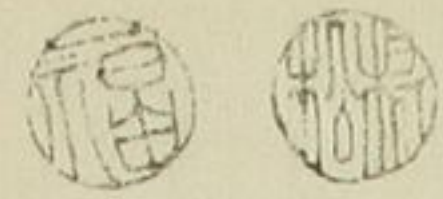
一陽齋豊国画

大晦日曙草子

十五編下



葛吉板



大晦日
曙草子

京山作
豊國画

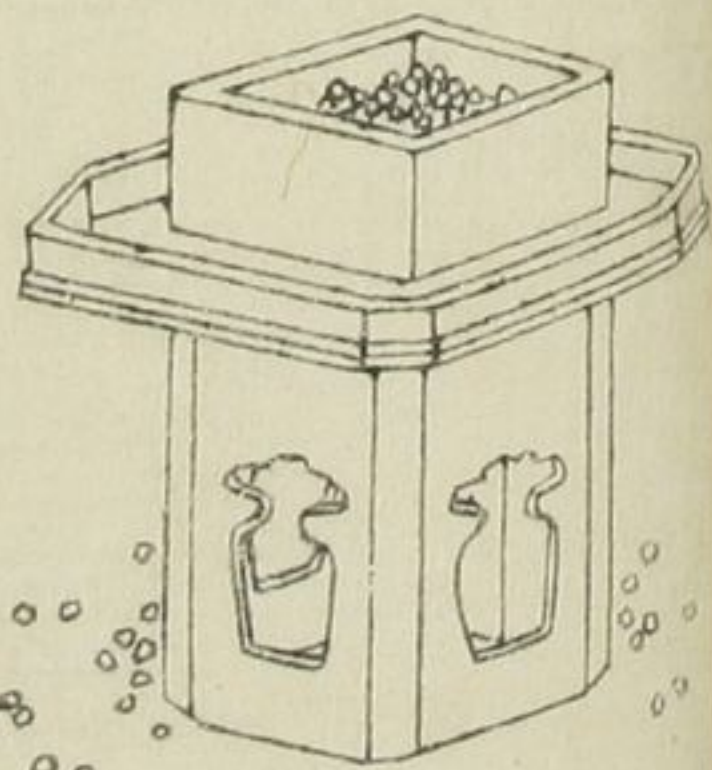
葛吉
板元

十五編
下の巻

暮暮 本居宣長
老木よも雪の花
さく草花を
よもむら
はの影のこゝろ

陳叔 蓋庵
おけむる
あはれを
さめ
おのれ
あひのれ

歳暮祝



あはれ
おのれ
あひのれ
あはれ
おのれ
あひのれ
あはれ
おのれ
あひのれ

金次郎





黄金百両木東西
もあまのりゆめ
白き中に入れば
おとせまこと
えりこせも

大晦日も八雲のきりぎりすのむね
おのくもゆけり
元日の初せり
百をあたふ
ねをうたひ
こちをたひ
うげのむね



① おおのりゆめ
おとせまこと
えりこせも

② 大晦日のむね
おのくもゆけり
元日



おのくもゆけり
元日の初せり
百をあたふ
ねをうたひ
こちをたひ
うげのむね
おのくもゆけり
元日の初せり
百をあたふ
ねをうたひ
こちをたひ
うげのむね



③ 大晦日のむね
おのくもゆけり
元日
おのくもゆけり
元日の初せり
百をあたふ
ねをうたひ
こちをたひ
うげのむね

五段

五段の物語は、大略四十五の巻に記され、...

五段の物語は、大略四十五の巻に記され、...



二内三
三内二
四内一

五段

五段の物語は、大略四十五の巻に記され、...



五段

五段

五段の物語は、大略四十五の巻に記され、...

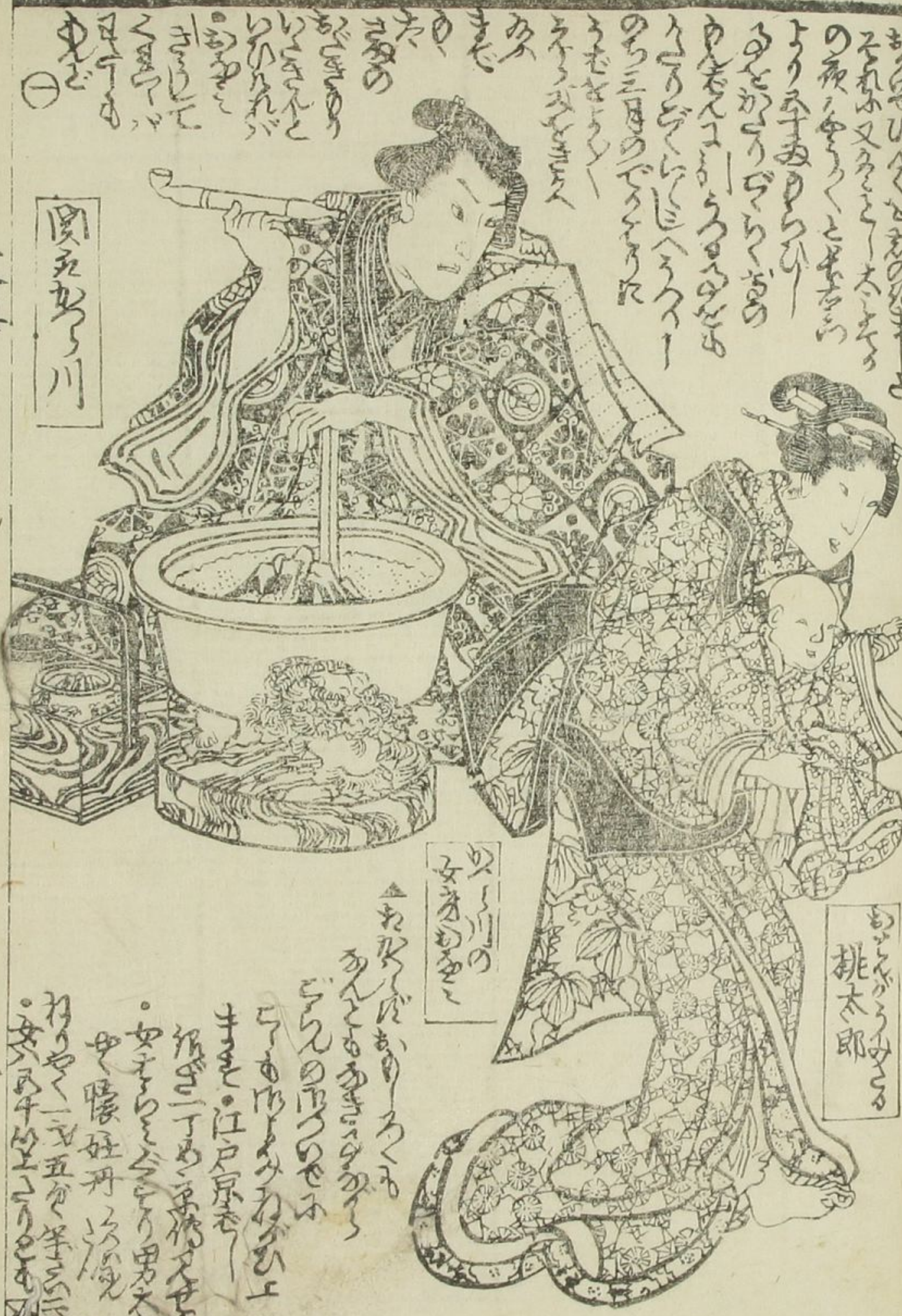
Handwritten text in vertical columns, likely a transcription of a play or a commentary on the scene below.



Handwritten label for the scene above, possibly identifying the characters or the setting.

Handwritten label for the scene below, possibly identifying the characters or the setting.

Additional handwritten text located below the illustration of the two women.



Handwritten label for the scene above, possibly identifying the characters or the setting.

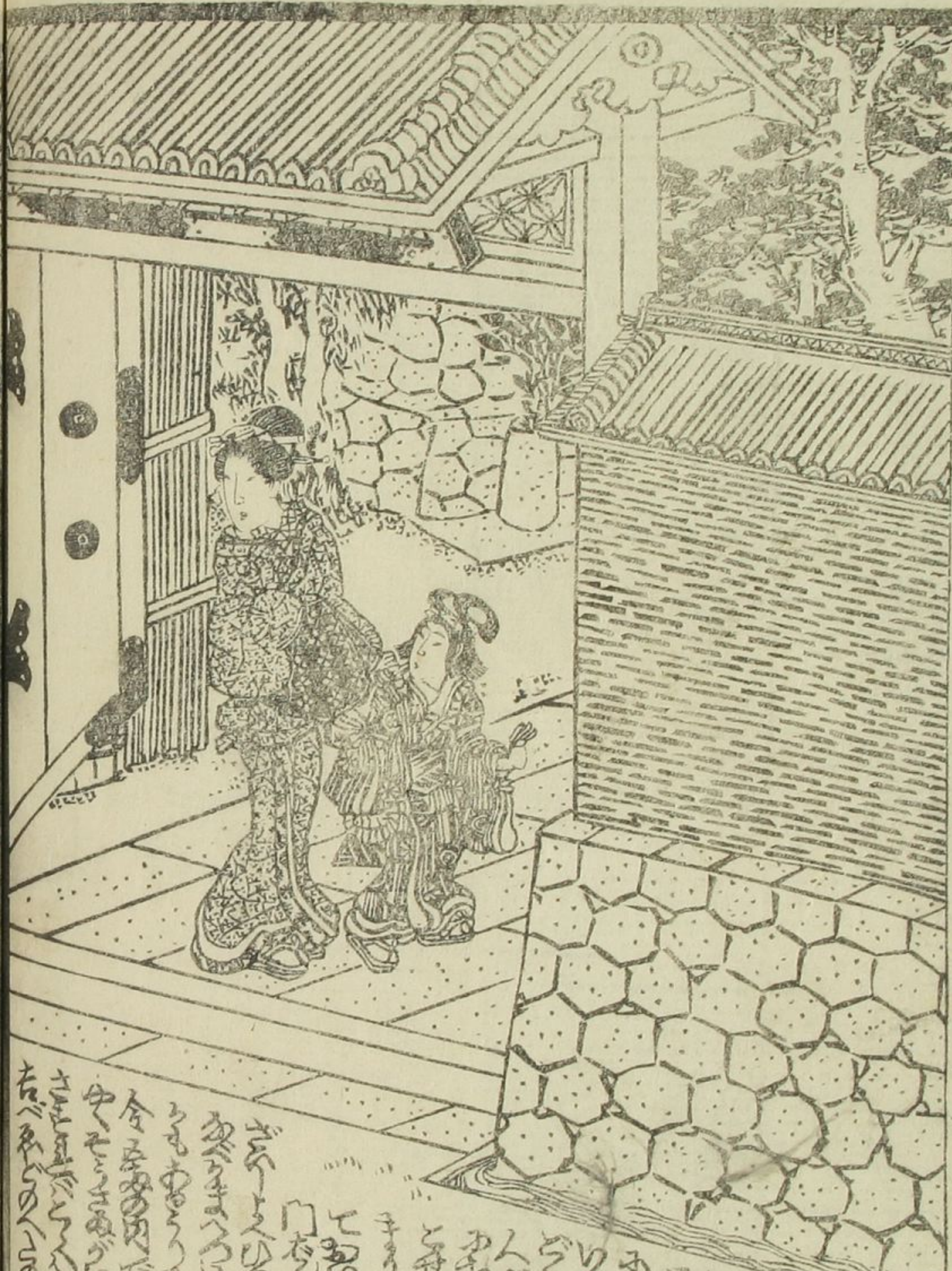
Handwritten label for the scene below, possibly identifying the characters or the setting.

Handwritten label for the scene below, possibly identifying the characters or the setting.

Handwritten text in vertical columns, likely a transcription of a play or a commentary on the scene above.



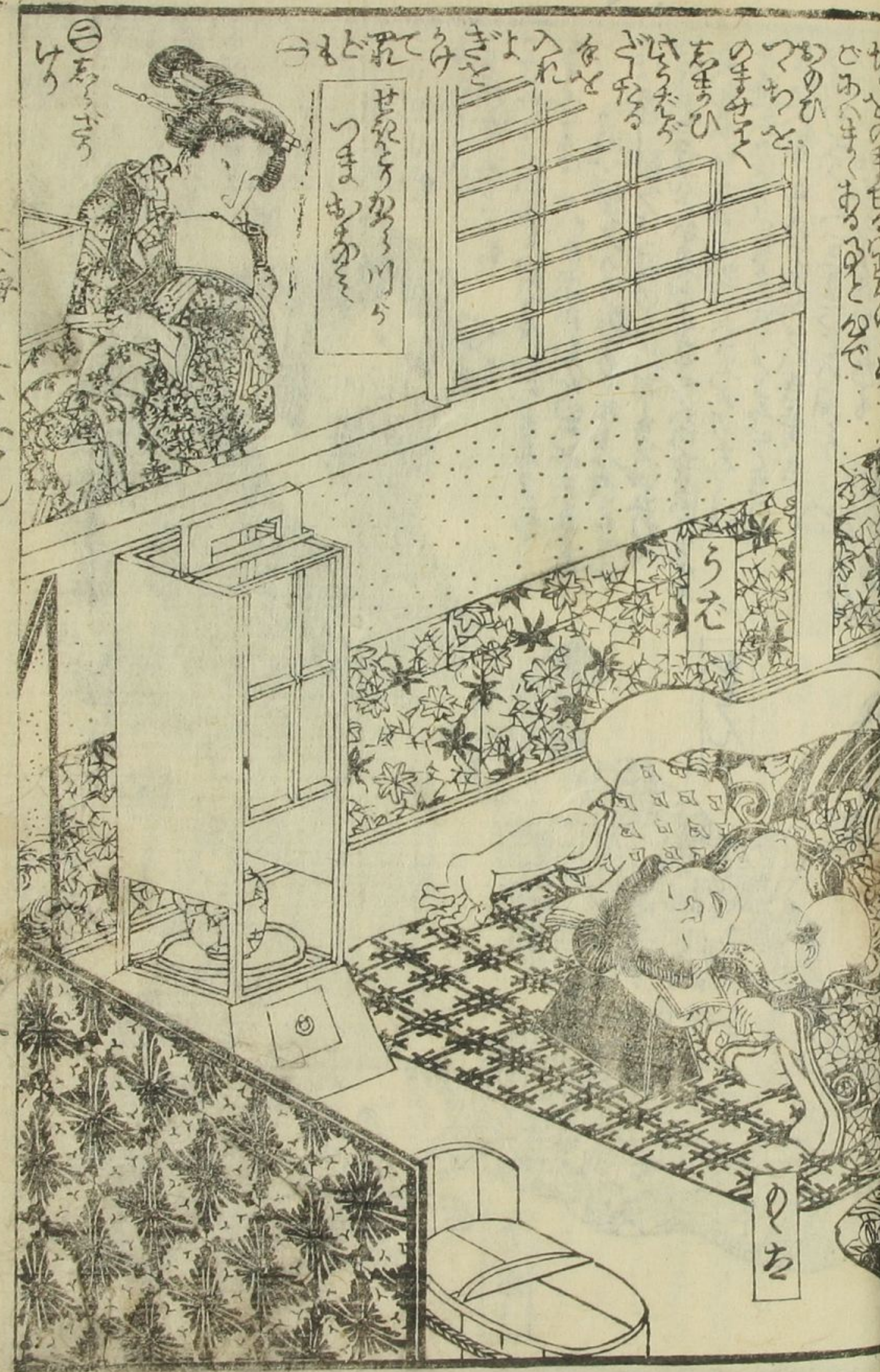
Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a dialogue or narrative related to the scene above.



Handwritten Japanese text in vertical columns, continuing the narrative or dialogue from the scene above.

Vertical text on the left margin of the first page.

Vertical text on the right margin of the second page.



甘藷が煮ゆる川
つまもかき

◎ちんぽう
けり

九月十五日

のち

七段
ぐつまのこめりけり
かたまゝえんめり
らみくるりちりた
りんどうちりあや
のらるるらるち
のやまらるちりち
もあひがをたひ
とえらるるを久
わりてりち
おひだりたされ
かへるらるちり
るをせりちりち
そのさるるらるち
まをくわりて
ちどのさるら
むちりちりちり
お母のちりちり
の子ちりちりちり
のちりちりちり
らるらるちりちり
ちりちりちりちり

ちりちりちり
ちりちりちり

九月十五日

十段

かてはあつる目とまゝ
しんあつるのまゝ
あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ



あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ



あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ

十一段

あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ



あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ
あつるあつるまゝ



① 玉の井の
さあめ
らるる
玉の井の
玉の井の
玉の井の

十四段 かくて玉の井ゆりの冬とく母をまきくをねんごり
ゆりのあつたをとしりりりあふりや上なれ母を
ゆりあつたをとしりりりあふりや上なれ母を
ゆりあつたをとしりりりあふりや上なれ母を

繪錦

玉の井の
さあめ
らるる
玉の井の
玉の井の
玉の井の

玉の井の
さあめ
らるる
玉の井の
玉の井の
玉の井の



十五段 かくて玉の井ゆりの冬とく母をまきくをねんごり
ゆりのあつたをとしりりりあふりや上なれ母を
ゆりあつたをとしりりりあふりや上なれ母を

ゆり

玉の井の
さあめ
らるる
玉の井の
玉の井の
玉の井の

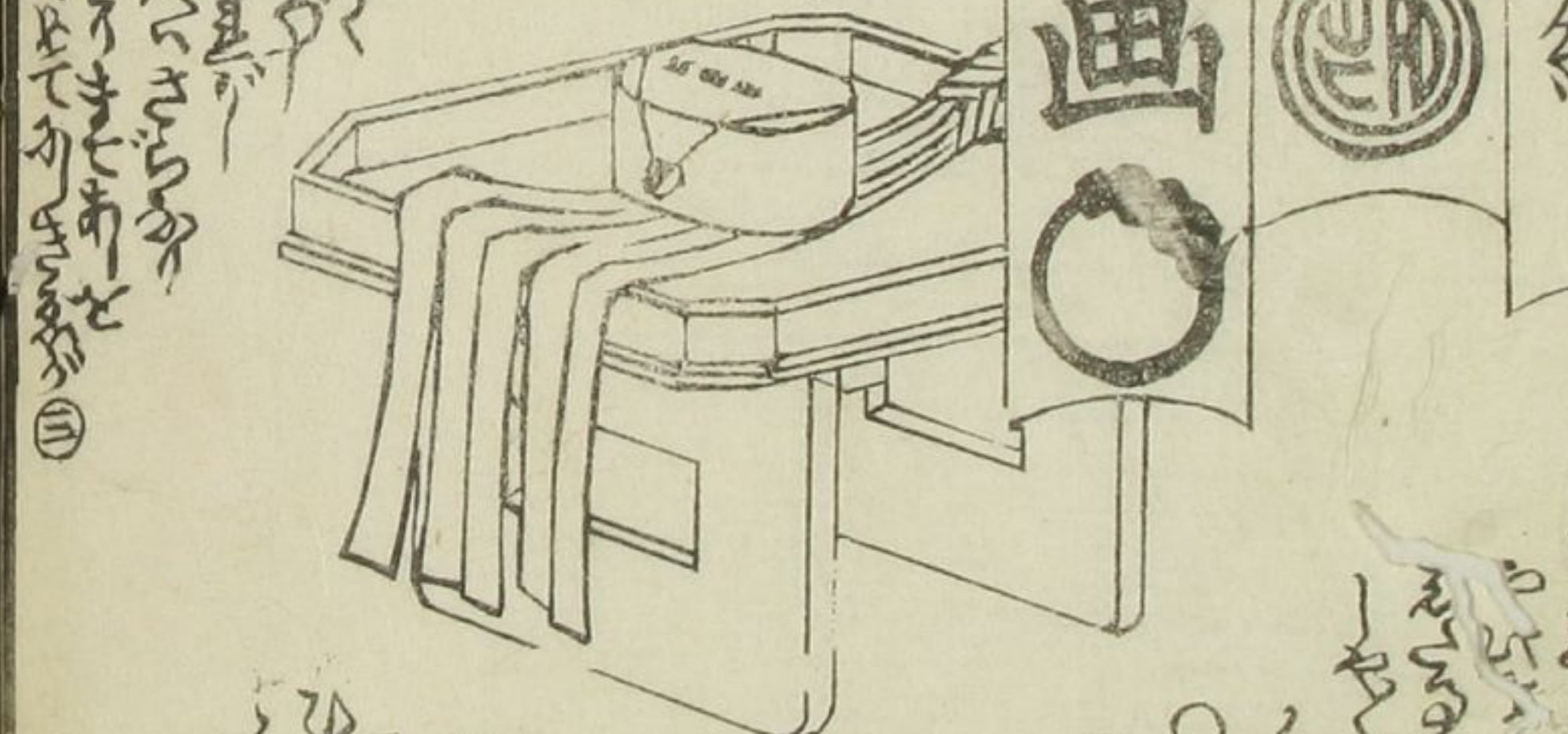
大晦日
曙草子十五編終

京山作

豊國画

大晦日
曙草子十五編終
大晦日の曙草子は、正月三日の夜に燃らす。此の草子は、大晦日の夜に燃らす。此の草子は、大晦日の夜に燃らす。此の草子は、大晦日の夜に燃らす。此の草子は、大晦日の夜に燃らす。

大晦日
曙草子十五編終



大晦日
曙草子十五編終

大晦日

十六編上之巻

曙草

紙



峰女

京山作

國輝画

紅英堂

壽梓

山東庵京山作
一雄齋國輝画

十六編上

南傳馬一
萬吉板



大晦日曙草紙

外題曲多回五

十七編下

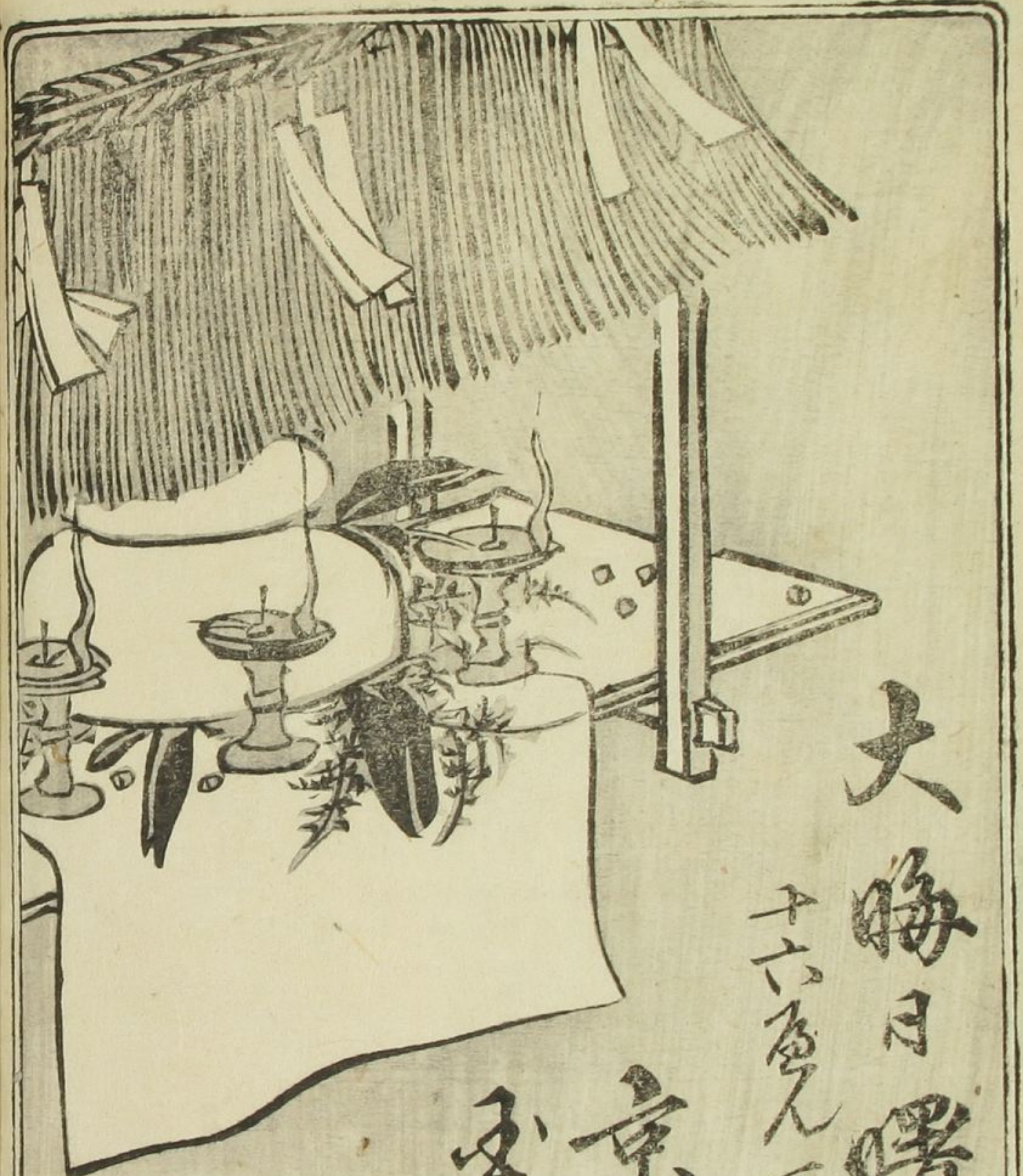
大晦日曙草紙

十六夜入下の年のき

京山化
玉輝画



葛吉板



このまはるき料さしと辨まわりのまのすやふよとせあまりに
ありぬさればかゝるさかたの持とあり跡もつものありんかた形
ちうふとちを疎のをいふせん後此大晦日あけのさしにハいぬ
天保九年戌戌の年縁生よ初編を作りあひをあひさ
ありつ年々跡をはぎく今には十六編の茶をさきり初
編出より十一年の大晦日人ふ一跡もかりあけきと後
撰をかへくと春株がさいそをねさきまてといひのさき
軒の押り目ごのさか梅がにまふとさきし茶を採
めてかきおぐさふ水ぶさの心とあきはつあつとあつらぬさ
すささか後ごといふゆり一取入

吉嘉永二年 仲委稿本
同初冬上梓

十二巻
山東庵京山



一

大晦日十六夜



万治 一子 郎

○かまごころ松たが
空ろのかひのち
かねありや
万治のん

大いふれきり
なすす下れと
やまの松たが
清のありて

○かまごころ
の門元
平いふれきり
娘ありと

○かまごころ
一子
桃太郎
おてし

○かまごころ
白妙
○のたがうた



○かまごころの
かまごころ
かまごころ

さたふ
山を
ありと

角力まらあは
去後入ま
口まら

○かまごころ
かまごころの
二目綿給

○かまごころ
かまごころ
かまごころ



③ 不世うゆいおは...
 九つおごう方...
 ▲ そのく男女の...
 りん...
 まう...
 ④ ⑤

④ ⑤
 ⑥ ⑦
 ⑧ ⑨

⑩ ⑪
 ⑫ ⑬
 ⑭ ⑮

⑯ ⑰
 ⑱ ⑲
 ⑳ ㉑
 ㉒ ㉓
 ㉔ ㉕
 ㉖ ㉗
 ㉘ ㉙
 ㉚ ㉛
 ㉜ ㉝
 ㉞ ㉟
 ㊱ ㊲
 ㊳ ㊴
 ㊵ ㊶
 ㊷ ㊸
 ㊹ ㊺
 ㊻ ㊼
 ㊽ ㊾
 ㊿



万母かえん

①
 ②
 ③
 ④
 ⑤
 ⑥
 ⑦
 ⑧
 ⑨
 ⑩
 ⑪
 ⑫
 ⑬
 ⑭
 ⑮
 ⑯
 ⑰
 ⑱
 ⑲
 ⑳
 ㉑
 ㉒
 ㉓
 ㉔
 ㉕
 ㉖
 ㉗
 ㉘
 ㉙
 ㉚
 ㉛
 ㉜
 ㉝
 ㉞
 ㉟
 ㊱
 ㊲
 ㊳
 ㊴
 ㊵
 ㊶
 ㊷
 ㊸
 ㊹
 ㊺
 ㊻
 ㊼
 ㊽
 ㊾
 ㊿



大晦日おぼえの
 大晦日おぼえの
 大晦日おぼえの
 大晦日おぼえの
 大晦日おぼえの
 大晦日おぼえの
 大晦日おぼえの
 大晦日おぼえの
 大晦日おぼえの
 大晦日おぼえの



七段
 七段
 七段
 七段
 七段
 七段
 七段
 七段
 七段
 七段
 七段

万石
 萬石
 萬石



万石
 萬石
 萬石
 萬石
 萬石
 萬石
 萬石
 萬石
 萬石
 萬石

万石
 萬石
 萬石

① 此の世に...
 ② 此の世に...
 ③ 此の世に...
 ④ 此の世に...
 ⑤ 此の世に...
 ⑥ 此の世に...
 ⑦ 此の世に...
 ⑧ 此の世に...
 ⑨ 此の世に...
 ⑩ 此の世に...

万太郎



① 此の世に...
 ② 此の世に...
 ③ 此の世に...
 ④ 此の世に...
 ⑤ 此の世に...
 ⑥ 此の世に...
 ⑦ 此の世に...
 ⑧ 此の世に...
 ⑨ 此の世に...
 ⑩ 此の世に...



百太郎



① 此の世に...
 ② 此の世に...
 ③ 此の世に...
 ④ 此の世に...
 ⑤ 此の世に...
 ⑥ 此の世に...
 ⑦ 此の世に...
 ⑧ 此の世に...
 ⑨ 此の世に...
 ⑩ 此の世に...

おきりらねて
 ちちのめめめ
 さあはる万二
 こころあてが
 ひとみうかぶ
 じがきむとつ
 いたのもま
 ぶちやよる
 百本の世の
 のためとて
 みたりて
 肉へめ
 といは十月
 大さるち
 りけり

八段
 とふ又十五
 ①
 ②
 ③

ざんせいの
 せいふく
 ちちのめ

万二郎



①
 ちちのめ
 さあはる
 こころあて
 ひとみうか
 じがきむ
 いたのもま
 ぶちやよる
 百本の世の
 のためとて
 みたりて
 肉へめ
 といは十月
 大さるち
 りけり

ふえようめ
 ちちのめ
 さあはる
 こころあて
 ひとみうか
 じがきむ
 いたのもま
 ぶちやよる
 百本の世の
 のためとて
 みたりて
 肉へめ
 といは十月
 大さるち
 りけり



梅物の肉
 のふり
 極楽寺

八海

① 大睡田上巻
二 大睡田上巻
三 大睡田上巻
四 大睡田上巻
五 大睡田上巻
六 大睡田上巻
七 大睡田上巻
八 大睡田上巻
九 大睡田上巻
十 大睡田上巻
十一 大睡田上巻
十二 大睡田上巻
十三 大睡田上巻
十四 大睡田上巻
十五 大睡田上巻
十六 大睡田上巻
十七 大睡田上巻
十八 大睡田上巻
十九 大睡田上巻
二十 大睡田上巻



② 大睡田上巻
二十一 大睡田上巻
二十二 大睡田上巻
二十三 大睡田上巻
二十四 大睡田上巻
二十五 大睡田上巻
二十六 大睡田上巻
二十七 大睡田上巻
二十八 大睡田上巻
二十九 大睡田上巻
三十 大睡田上巻
三十一 大睡田上巻
三十二 大睡田上巻
三十三 大睡田上巻
三十四 大睡田上巻
三十五 大睡田上巻
三十六 大睡田上巻
三十七 大睡田上巻
三十八 大睡田上巻
三十九 大睡田上巻
四十 大睡田上巻

③ 大睡田上巻
四十一 大睡田上巻
四十二 大睡田上巻
四十三 大睡田上巻
四十四 大睡田上巻
四十五 大睡田上巻
四十六 大睡田上巻
四十七 大睡田上巻
四十八 大睡田上巻
四十九 大睡田上巻
五十 大睡田上巻
五十一 大睡田上巻
五十二 大睡田上巻
五十三 大睡田上巻
五十四 大睡田上巻
五十五 大睡田上巻
五十六 大睡田上巻
五十七 大睡田上巻
五十八 大睡田上巻
五十九 大睡田上巻
六十 大睡田上巻



④ 大睡田上巻
六十一 大睡田上巻
六十二 大睡田上巻
六十三 大睡田上巻
六十四 大睡田上巻
六十五 大睡田上巻
六十六 大睡田上巻
六十七 大睡田上巻
六十八 大睡田上巻
六十九 大睡田上巻
七十 大睡田上巻
七十一 大睡田上巻
七十二 大睡田上巻
七十三 大睡田上巻
七十四 大睡田上巻
七十五 大睡田上巻
七十六 大睡田上巻
七十七 大睡田上巻
七十八 大睡田上巻
七十九 大睡田上巻
八十 大睡田上巻

弘化五戊申春新板目錄

大晦日曙草紙

十三編四冊 山東庵京山作
古編四冊 一陽齋豊國画

五十二驛梅東路

初編四冊 並木舎五瓶作
二編四冊 一陽齋豊國画
三編四冊

新鞆田舎物語

初編四冊 十返舎一九作
二編四冊 一陽齋豊國画

古今草紙合

初編四冊 笠立亭仙果作
二編四冊 一陽齋豊國画

東都地本錦繪板元合

南傳馬町壹丁目
葛屋吉藏



嘉永三庚戌春新目錄

大晦日おひ暁あけ草紙くさし十五編
 山東庵京山作
 一陽齋豐國画

一名いち雪梅芳譚せつばいほうだんのおの艸紙くさし八編九編十編
 笠亭仙果録
 一陽齋豐國画

塩屋しほや古今ここん草紙くさし合三編四編
 笠亭仙果作
 一雄齋國輝画

甲越武かうごぶ功傳こうでん全二冊
 樂亭西馬縮補
 一猛齋芳虎画

御贄美少年おんねいみせうねん始はじめ四編五編
 十返舎一九鈔録
 一雄齋國輝画

新靴田舎物語しんくつでんかさものがたり三編四編
 十返舎一九作
 一雄齋國輝画

俠客傳けやくでん仙せん摸略說もくらくせつ初編二編
 樂亭西馬縮補
 一雄齋國輝画

東都中橋南傳馬町二丁目
 地本板元ぢほんばんげん草くさ至し
 錦繪にしんえい吉藏きちざう

